

要 請 書

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、これまで本県では、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請してきたところであります。

また、全国知事会でも、昨年7月に取りまとめた「米軍基地負担に関する提言」において、米軍機による低空飛行訓練等について、「地域住民の不安を払拭した上で、実施されるよう」要請をしているところです。

そうした中、本県では、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃情報が、本年大幅に増加しており、12月9日現在で、過去10年で最大の40日の目撃情報が既に寄せられております。中には、夜間の飛行訓練に関する目撃情報も寄せられており、周辺の住民は、その轟音に強い不安や懸念を抱いているところです。

加えて、昨年12月の高知県沖での事故に関する事故調査報告書において、米軍岩国基地所属の戦闘機部隊で、手放し操縦や飛行中の読書等の規律違反が判明するなど、県民の不安の声が一層高まっています。

以上のことから、県民の安全・安心を確保するため、以下について、改めて強く要請いたします。

- 1 本県上空で、住民に不安や懸念を抱かせるような米軍機の低空飛行訓練が実施されないよう対処すること
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること
- 3 飛行中の規律違反について、米軍へ綱紀粛正の徹底を求めること
- 4 米軍機による騒音の実態を十分に把握するため、国において、中国地方で騒音測定装置を設置したことと同様に、いわゆるオレンジルート上に位置する本県においても、騒音測定装置を設置すること

令和元年12月11日

徳島県知事 飯 泉 嘉 門